

その他の
主な議案

令和3年度一般会計
補正予算(第10号)

本補正予算は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、市として速やかに着手する必要がある事業を計上するものです。

歳出の主な内容は、子育て世帯への臨時特別給付金を令和3年中に支給開始する経費のほか、ワクチンの3回目の追加接種の体制を確保し、令和3年度末まで住民接種を継続する経費を計上します。また、集団接種のためのプレハブ会場借上料にかか

る債務負担行為を追加します。補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ20億9千5百30万3千円を増額し、総額をそれぞれ7百69億7千9百13万6千円とします。

固定資産評価審査
委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

嶋田 貴文氏

人権擁護委員
候補者の推薦

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員を次のとおり推薦することに同意しました。

醍醐 保江氏

笠原ノリ子氏

決 議

決議とは、市議会の意思を対外的に表明することが必要であるなどの理由で行われる議決のことです。(要旨掲載)

障害福祉サービス等報酬改定により大きく影響を受ける放課後等デイサービス等の事業所について、小平市に様々な支援策を求める決議

令和3年4月から障害福祉サービスの報酬改定が実施され、今後、放課後等デイサービス事業所などが減収し事業の運営等が困難になる事業者がいます。よって本市議会は、小平市に対し、従来どおりの運営ができるよう次のことを求めます。

1 放課後等デイサービスの専門的支援加算は児童発達支援事業と同様に、5年以上経験のある保育士や児童指導員にも適用するよう政府に働きかけること。

2 放課後等デイサービス等において、報酬改定でこれまでの報酬からマイナスになる事業者にも、様々な支援策を講じること。以上、決議します。

新型コロナウイルス感染症自宅療養者などへの支援と相談体制の確保及びさらなる周知を実施することを求める決議

本市議会では、令和2年12月定例会で新型コロナウイルス感

緊急質問

緊急質問とは、質問が緊急を要するときなどに議会の同意を得ることができる質問です。

令和3年12月定例会初日に、1件の緊急質問がありました。

染者の詳細な情報の提供を求める意見書、令和3年6月定例会では新型コロナウイルスワクチン接種に関する意見書を全会一致で可決しました。この意見書ではワクチン接種に伴う副反応など、国がホームページなどで公表している情報などを市民に周知することを求めました。

8月25日、国は都と市が連携して、在宅を余儀なくされている療養者などへの支援を求めました。都は自宅療養者などの情報を市に提供するとしました。

また、市長は市長選挙の政策に、市民の相談窓口を設け、新型コロナウイルス感染症による在宅療養者へ必要に応じ食料等を届ける仕組みの構築等を書いています。

よって本市議会は、小平市に対し、次のことを求めます。

1 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者やコロナ禍で精神的に疲弊した市民などへの支援と相談体制の確保及びさらなる周知を実施すること。

2 新型コロナウイルス感染症の後遺症者などへの生活相談も含めたサポート、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応や後遺症に悩む方々のケアなどについては、多摩小平保健所のみならず小平市医師会などとも連携し、対応すること。以上、決議します。

質問件名等は次のとおりです。

一人会派の会
安竹 洋平議員

新型コロナウイルスワクチン副反応の救済申請を市が抑制している疑いについて



注1

議案等に対する各議員の賛否

12月定例会

会派名略称
() 内は各会派の議員数

政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 共産：日本共産党小平市議団(3) 生ネ：生活者ネットワーク(3)
一人：一人会派の会(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1…無会派)

Table with columns for district, item number, item name, decision result, and individual member votes (賛成/反対/退場) for each party.

○：賛成 ×：反対 退：退場 ※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等 (議長は表決に加わりません。)

Table listing unanimous decisions with columns for item number, item name, and decision result.

注1 QRコードの注意事項等は、4面「QRコードについて」をご覧ください。